

福島第一原子力発電所の廃止措置等の進捗状況

(2023年9月10日時点)

ALPS処理水の海洋放出について

本年8月22日の関係閣僚等会議における政府のALPS処理水の海洋放出開始に係る決定を受け 東京電力は、実施計画に基づき、8月24日より放出を開始しました。

放出に当たっては、多核種除去設備(ALPS)※1にて、トリチウム以外の放射性物質を国の規制基準未満に取り除いたのち トリチウムの規制基準を満たすよう海水で希釈して放出します。

※1 汚染水からトリチウム以外の大部分の放射性物質を取り除くことができる浄化設備。

放出実績と海域モニタリングの測定結果

放出実績

異常なし

海水 約340,000㎡/日 ▶ ▶

基準となるトリチウム濃度

当社の放出基準: 1,500ベクレル/ に

WHO 飲料水基準: 10,000ベクレル/ 次

国 の 規 制 基 準:60,000ベクレル/ に

海水で希釈した後の トリチウム濃度※2 (希釈率 約740倍)

分析值

180ベクレル/器

1.500ベクレル/況 を下回っている。

ALPS処理水

- ·放出量:456m3/日
- ・トリチウム濃度:約14万ベクレル/以

9月7日までに放出した累計実績

- ·放出量:6,567m3
- ・トリチウム総量:約1兆526億ベクレル (放出基準:年間22兆ベクレル未満)

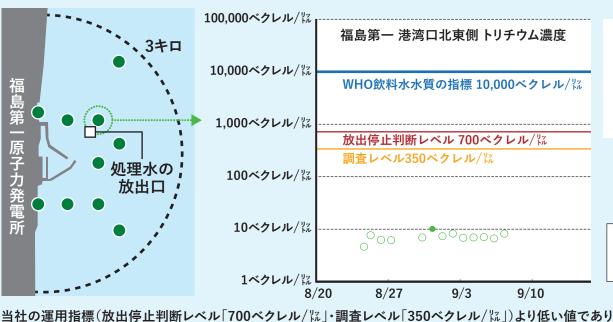
海水で希釈した ALPS処理水が 上流水槽から 下流水槽に越流



海域モニタリングの測定結果

異常なし

海洋放出開始(8月24日)以降、検出限界値を10ベクレル/次 程度に上げて迅速に結果を得る分析を毎日実施しています。





▲その他の地点の 測定結果はこちら

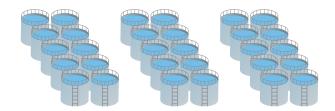
●トリチウム濃度 ○検出限界値未満

計画どおり安全に放出できていることを確認しています。

また、8月24日以降、「環境省 | 「福島県 |の海域モニタリングのトリチウム迅速測定結果は、すべて検出限界値未満となっています。 「水産庁」における水産物(ヒラメなど)のトリチウム迅速測定でも、すべて検出限界値未満の結果です。

2023年度の放出計画について

放出計画については、「トリチウム濃度の低いものから順次放出」することとしています。 2023年度は4回の放出を計画しており、トリチウム総量「約5兆ベクレル」の放出を計画しています。



海水で100倍以上に希釈し 1,500ベクレル/混未満にして放出します。

	エリア・タンク群	ALPS処理水流量	トリチウム濃度	トリチウム総量
第1回放出	K4エリア B群	約7,800m³	14万ベクレル/ ポス	1.1兆ベクレル
第2回放出	K4エリア C群	約7,800m³	14万ベクレル/ホス※	1.1兆ベクレル※
第3回放出	K4エリア A群	約7,800m³	13万ベクレル/ホス※	1.0兆ベクレル※
第4回放出	K4エリア E群 K3エリア A群	約4,500m³ 約3,300m³	17-21万ベクレル/キスँ*	1.4兆ベクレル*
	2023年度合計	約31,200m³	2023年度合計	約5兆ベクレル
			年間放出基準	22兆ベクレル

「第1回放出:K4エリアB群タンク」からのALPS処理水の移送は9月10日までを予定しています。 9月11日「ALPS処理水移送ライン内にある残水」を「ろ過水」で押し流し、その完了をもって、第1回の海洋放出は終了 となる予定です。

※ 2023年7月1日時点までの減衰を考慮した、当該タンク群における平均の評価値(トリチウム線度、トリチウム線量)。

海洋放出に関するデータ公開について

「処理水ポータルサイト」ではALPS処理水の海洋放出における各設備での状況についてひとつにとりまとめたページ「ALPS処理水海洋放出の状況」を公開しています。





https://www.tepco.co.jp/ decommission/progress/ watertreatment/



東京電力ホールディングス株式会社

編集発行 責任者 福島第一廃炉推進カンパニー 廃炉コミュニケーションセンター コミュニケーション企画グループマネージャー

〒979-1301 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22

本紙に関するお問い合わせ

TEL(0240)30-5531(平日午前9時~午後4時)

こちらでもご覧いただけます。 【1ForAllJapan】https://1f-all.jp/ 目次より「いちえふのいま」を選択

